

# 白い骨<sup>はな</sup>

西條由美子

シエクスピアの悲劇

「オセロウ」悪役イアーゴーが言う  
時の胎<sup>たい</sup>の中にはいろいろな事件が  
はらまれていてやがて

それが生まれてくるのだ

私の人生の事件もこの中のひとつ

それが時にはその人の一生を

狂わせてしまうこともある

つぎに産声をあげる事件は

何だろうと私の背でまたイアーゴーは

言っているような気がする

壊された私の倫理を

復活させるために懸けた

長い歳月<sup>としつき</sup>どんな暗夜でも

自分自身の心の燈<sup>ひ</sup>を掲げて

書き記してきた

わたしのDNAはなぜ

文学と言う

重いメッセージを

使命として私に託したのか

一億万年書いて

届かぬこの想い

千羽鶴おまえも

飛んでみたかろう

大空を：

見えぬ心の青空を

載せて飛ばすが

わがつとめ

軽く静かに去りてゆく

病院<sup>ひとや</sup>の屋根を飛び立ちて

永遠の

大空に

雲散霧消の

白い骨<sup>はな</sup>

さいじょう ゆめい

三重県四日市高校卒業。東京、大阪など文学学校通信。一九七八年三月、現・佐久市、元・浅井村文芸祭 詩の部特選・表彰状。一九九六年一月愛知県春日井市短詩型文学祭詩の部秀逸・賞状。一九九八年一月春日井市文化協会第一八回短詩型文学祭詩の部文化協会賞・賞状。二〇一一年一月「文芸思潮」現代詩賞佳作。二〇一三年二月第八回佐久市短詩型文学祭現代詩一般の部特選。